

株式会社 ティ・オー・エス

メディアコミュニケーション学部情報文化学科

3年 柴田 麻里衣

1. 実習企業（団体）の概要

プログラム受託業務、ソフト要員（システムエンジニア、プログラマー等）派遣業務を手掛ける。主要事業は官公庁関連向けシステムの構築。その他、携帯コンテンツの作成、WEBシステム開発等を手掛け、多様な顧客ニーズに応じている。

- ・ 設立 1973年5月16日
- ・ 所在地 東京都千代田区鍛冶町1丁目9番4号 KYEビル4F
- ・ 資本金 2000万円 ・ 従業員数 90人
- ・ 代表取締役 伊藤 満

2. 実習内容

ツールのコーディング、レビュー体験

3. 実習の成果

第2情報システム部1課におけるインターンシップでは、実際の設計書からプログラミングを行い、最終日には作ったソースを元にレビューを行いました。初めて見える設計書からフローチャートを作成し、少しずつプログラムを組んでいきました。何度も試行錯誤を重ねながら仕様通りの動きが出来た時は、大きな達成感を得ることが出来ました。また、作業を行いながら、コミュニケーション力の大切さに改めて気が付きました。不明な点や自分の意見を明確にすることで、問題を素早く解決できるのだと分かりました。レビューにおいてもコミュニケーション力は重要であり、ソースのどの部分がどのような動作を行うのかを分かりやすく伝えなければならないのだと感じました。声の出し方や言葉遣いなど話し方を意識することによって、相手の理解度も変わるのだと勉強になりました。6日目には業界や仕事に関してのお話を伺い、大変勉強になりました。以前は、ずっとプログラミングを行う仕事だと思っていましたが、1年の大半は設計や試験に使うといったお話には、認識を改めることになり多くの発見がありました。8日間のインターンシップを通じて、扱う言語が変わっても、大学の授業で学んだ基本的なプログラミングの知識が重要であると分かりました。残りの学生生活では更にプログラミングの学習に励んでいきたいと思えます。

4. 実習の感想

今までは、授業の課題としてプログラミングをしてきましたが、今回は実際に使用されるツールのプログラミングを行うことが出来ました。ただ、エラーなく動けば良いのではなく、他の誰が見ても分かりやすいソースであることなど、大学の授業では知ることの出来ない様々な知識を得ることが出来ました。初期化することやコメントを付けることの重要性も理解することが出来ました。また、プログラミングをする際には、初めからすべてを作ろうとするのではなく、段階的に試験を実施しながら組み立てていくと、スムーズに作業が出来るのだと分かりました。仕様書と自分で書いたフローチャートを見ながらコーディング出来たことは、非常に貴重な体験であり、ますますプログラミングへの興味を高めることが出来ました。それと同時に、プログラミングに対する知識と技術不足を痛感し、残りの学生生活では更にプログラミングの学習に励んでいこうと決意しました。そして、社員の皆様にご馳走していただいた際には、仕事以外の様々なお話をしていただき、日々の励みになりました。

このような貴重な経験をさせて頂いた神部先生をはじめとする諸先生方と、お忙しい中インターン

シップでお世話になった方々への感謝を胸に、これからの学生生活を過ごしていきたいと思ひます。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	8月24日(水)	ツールのコーディング
2日目	8月25日(木)	ツールのコーディング
3日目	8月26日(金)	ツールのコーディング
4日目	8月29日(月)	ツールのコーディング
5日目	8月30日(火)	ツールのコーディング
6日目	8月31日(水)	ツールのコーディング・業界や仕事内容等についてのレクチャー
7日目	9月1日(木)	ツールのコーディング
8日目	9月2日(金)	ツールのコーディング、レビュー